

よかご通信

2011年新春号

O2Farm【オーツーフーム】 大津耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村両併 587
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: o2farm@aso.ne.jp
O2FarmWeb : www.aso.ne.jp/reisi



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします！皆様はどのようなお正月をお迎えでしょうか。南阿蘇では珍しく雪のお正月。銀色に輝く阿蘇五岳はあまりに神々しく、元旦から厳肅な気持ちになりました。



今年に入って最初の「ニュース」は、サンタさんからの贈り物。元日の朝、子供たちの枕元には大きな靴下に入ったプレゼントが！南阿蘇は遠隔地なので、クリスマスには間に合わないのです（笑）。大晦日の晩に、やっと阿蘇まで届いた贈り物を、天神様が配達して

くれる、というわけ。こんな妙案を考え出すのは、もちろん耕太。お米の発送も手伝う子供たちは、遠い場所に届けるには時間がかかることを知っています。何となくそれらしい理屈なので、今のところ怪しむことなく父親の言うことを信じている子供たち。今年もプレゼントのお礼を言うために天神様まで初詣しに行きました。初詣の後、家族5人で一面スキー場と化した棚田でソリ遊び。一番夢中になっていたのは、私と耕太かもしれません！初めて雪遊びをする讃太郎も、ご満悦の様子でした。

元日の夜は、耕太の実家で新年会。耕太の父親は農家の長男ですが、若い頃に病気をして、家業を継ぐのを諦めました。闘病中に会った看護婦さんと結婚。白衣の天使に出会ったおかげか病気は完治し、車の整備士として仕事を続けていました。今は二人とも退職し、孫たちの子守りで大忙しです。南阿蘇から45分ほどの所にある夫の実家。近すぎず遠すぎず、ほどよい距離で私たちを支えてくれています。新年会で発表したそれぞれの目標。



耕太 「ぐっところえる」
愛梨 「週に半日は休む」
桔平 「動物の世話をがんばる」
連蔵 「田植え」
讃太郎 「保育園」

さて誰が一番目標を達成できるでしょうか。それにしても、保育園に行くはずなのは上の二人なのですが…。三男が一番、行きたがっています。どうなることやら。

話は変わりますが、年末から耕太が「出稼ぎ」に行っています。去年の農閑期は、阿蘇の反対側にある「ゆたっと村」という都市農村交流施設で、トンボが棲めるビオトープ作り。今年は、村内に住む写真家さんのギャラリーづくり。といっても、建てるのではなく、納屋の改装。野中元（はじめ）さんという方で、先月ご紹介した「クーヨン」という雑誌で我が家の写真を撮ってくださったのは彼でした。奥様は、かるべけいこさんという料理家さん。よく雑誌等にも出ていらっしゃるようです。私たちより10年ほど前に移住して来られたお二人は、幸せオーラを出し続けている良き先輩。そこの現場に「猫の手」として借り出された耕太も幸せいっぱい仕事をしている様子。もともと物づくりも好きな耕太は楽しくて仕方がないようです。



さかのぼりますが、12月20日に牛の子市がありました。我が家からは3頭出荷。口蹄疫の影響で子牛を買い控えていた肥育農家が県外からも買い付けに来ていて、今回はいつもより平均価格が上がりました。そのあか牛。昨夏に初めて我が家の牛をと畜・解体しましたが、おかげさまで完売致しました。400キロを超える成牛を解体しても、肉にすると200キロ弱。それなりの値段で売れる肉はさらにその半分以下。あとはミンチとかコマとか筋の多い部位とかです。つまり、1頭の牛からとれる上質の部位でしっかり稼がないと、というわけ。牛肉が高い理由がよく分かりました。そんなわけで、初の解体プロジェクトからは収益らしい収益を上げることができませんでしたが、これから育ち盛りを迎える息子3人に我が家の肉を食べさせられる、というのは大きな魅力。あか牛のお肉を購入いただいた皆様にもご意見を伺いつつ、どうにか細々とでも続けていければ、と考えているところです。また解体する節にはどうぞよろしくおねがいいたします！



今月最後のニュースはどんど焼き。今年は吹雪の中で行われました。寒いのでついつい「かっぽ酒」と呼ばれる熱燗を飲みすぎてしまいました。それでも体が温まることはありません。いつもならこんな時は温泉に行くのですが、お酒は飲んでるわ、路面が凍結しているわ。準備から片付けまでしていた耕太は、「体がぬくもらない…」と早々に床に入りました。大丈夫かな！？無病息災を祈るための行事で風邪をひいたのではシャレにもなりませんね。

夏は猛暑、冬は極寒。体がおかしくなりそうですが、どうぞ皆様今年も、お米をしっかりと食べて元気に過ごされてくださいね！皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

